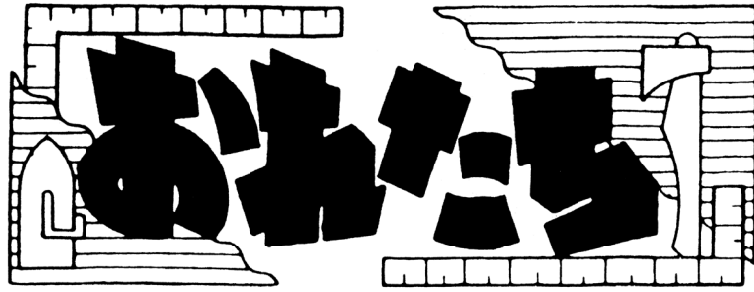


無料法律相談日の案内

8月18日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

7月当初組合員数=1,993人(-9人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・川又好一/編集長・堀井龍二
http://www.doken-arakawa.org/

第40回 春の住宅デー
多彩な企画で来場者に喜ばれ、区内9会場で開催

親子で来場しにぎやかに
地域貢献と仕事確保へ

【仕事対策部発】6月11日(日)に
第40回住宅デーを荒川区内9か所で開催しました。当日は曇り空でしたが時折晴れ間ものぞいて、雨も降ることなく良い陽気で開催することが出来ました。来場者は全体で1380人となりました。各会場では、1群1企画を目標に、多彩な企画で来場者を

西尾久 木工教室
子どもにも好評

西尾久分会は荒川遊園の入口で行うため、毎年多くの親子連れのお客さんが訪れます。

このため、水ヨーヨーや自由工作はいつも子供で賑

わいます。支部で用意してくれた貯金箱の他に、分会で準備した木っ端を子供たちが想像力を膨らませ自由に組み合わせます。バザーやまな板販売には大人が足を止めてく

防災グッズや災害から身を守る方法などを多くの市民に紹介ができる場になっています。来場者数380人に対して包丁研ぎの受付本数は34本と少なめでした。これは来場者の多くが荒川遊園へ遊びに来た人が立寄ってくれたからです。強化が必要です。



大人気の木工教室(西尾久)



限られたスペースで包丁研ぎと輪投げ(町屋北&事業所)



親娘の貴重な思い出に(日暮里2)

トに包丁研ぎや豊鍋敷きの販売などに多くの通行人が足を止めてくれました。包丁研ぎも24本とまだまだ少ないですが、家に取りに戻る方も居ました。少しづつでも区民の方に広めて行きたいです。

町屋北 事業所分会と
合同開催

今回の住宅デーでは事業所分会と合同開催をしまし

これまで事業所分会では業種の関係もあり包丁研ぎができていませんでした。また、町屋北分会では参加者数の減少により企画が少なく、会場そのものが閑散としてしまい、来場者の確保に苦労していました。

当日は、事業所分会のかき水やスーパーボールくじ、町屋北のフランクフル



親方と弟子?(日暮里1)



仕上りを厳しくチェック(東尾久1)



ヨーヨー釣り(町屋南)



女の子に人気(東尾久2)

ひぐらし

傲慢過ぎる安倍政権の自民党は、7月2日の東京都議選で歴史的大敗となりました。小池都知事が率いる都

役員会でも町屋地域の方への奉仕という点で悩んだ末に、参加者も多く賑わう住宅デーを作り上げて行くためのステップとして支部事務所での合同開催に踏み切りました。こうした役員会の決断で参加者確保の呼びかけにも熱が入り、今回3人の新たな仲間が住宅デーに参加してくれました。当日は、事業所分会のかき水やスーパーボールくじ、町屋北のフランクフルトに包丁研ぎや豊鍋敷きの販売などに多くの通行人が足を止めてくれました。包丁研ぎも24本とまだまだ少ないですが、家に取りに戻る方も居ました。少しづつでも区民の方に広めて行きたいです。



ひとくち映画情報

『ありがとう、トニ・エルドマン』
マーレン・アデ 監督

C Kompizen Film



父と娘の、涙と笑いの愛情物語。多くの映画賞

受賞しました。ピアノ教師、ヴィンフリートの趣味は変装すること。「トニ・エルドマン」という別人になって、荷物を届けにきた宅配業者をからかったり、パーティーの余興に登場したりと、ひとりの暮らしの毎日を楽しんでいます。

彼の娘イネスは正反對。勤務地の外国からたまに帰って父と会っていても、携帯電話で仕事の話ばかりしています。勤



店主の西村章雄さん



和菓子・「重盛の人形焼き」

重盛永信堂 三河島支店 (荒川区荒川3丁目38番14号)

ぷつくりとふくれた七福神の顔が愛らしい人形焼き

JR常磐線三河島駅を出て、仲町通り商店街に入ると、中程の左側にフラワーショップがある。その前のテント看板に「重盛の人形焼き」と七福神のイラストが描かれ、重盛永信堂三河島支店とありました。入り口にある硝子のショーケースの中には、美味しそうな、詰め合わせの

人形焼きが並び、隣にはユニークなネーミングのゼイタク煎餅が並んで目をひきます。人形焼きの見本はご主人の西村さんが紙粘土で作ったそうです。さすが人形焼き職人さんと感じる技で表現されています。文・写真 堀井龍二 記者・川又好一 記者・日暮里一分会



人々に愛されて101年



ほんのりした甘さが絶妙

にあわせ人形焼きと名前をつけたアイデアの重盛永信堂。

ゼイタク煎餅の秘話

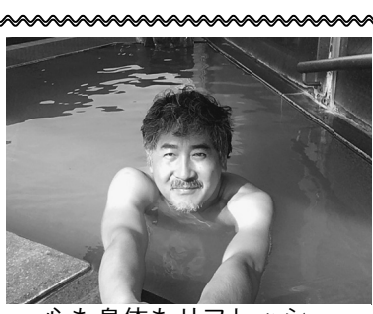
西村さんは、長野県から中学を卒業して、昭和30年に住み込みで、重盛永信堂に入りました。西村さんのお母さんが、重盛永信堂の創業者の重盛家から、西村家に嫁ぎ章雄さんが生まれました。創業者の重盛永治さんは明治38年信州伊那から上京して、東京の煎餅屋を振り出しに、色々と修業して、10年ほどの歳月をか



長年使い込まれた焼型

で、50店舗位色々のお店が並び、自転車では通行できないほどだったそうです。当時は周辺にスーパーなどが無く、買い物は商店街が中心であったため、お店は朝9時から夜7時まで開き、休日も無しで働いたそうです。

時代にあう人形焼きを
平成の時代から近辺にスーパードが開設し、徐々に仲町通り商店街に消費者の来店が少なくなりました。色々と商店街でも工夫やアイデアを出したが、消費者の流



心も身体もリフレッシュ

経営が難しくなると、徐々に店をたたむ人も増え始めた。時代の変化に対応出来ない商店が多い中、工夫を凝らしながら、現代にあう味を追求している。厳しい修行で身につけた人形焼き職人が、消費者の好みの変化を読み、毎日作り続けている姿に感銘を受けた取材

仲間の横顔



小熊賢一さん (東尾久1分会) 32

東尾久1分会の分会長の小熊賢一さん49才(塗装業)にお話を伺いました。

年組合員同士の交流があり、仕事が忙しい時期もキャンプやBBQなどのイベントに積極的に参加しました。分会長となつた今では、出席してくれない若手の対応にもこうした経験が生かされているのかなあと感じます。趣味は温泉めぐりです。昨年は1年間の間に1000日温泉に入ることを目標としました。それぐらい温泉が好きなんです。道後温泉、別府温泉や草津温泉と日本の名湯と言われる所へも行きました。特に、お気に入りの温泉は「奥多摩 瀬音の湯」です。しかもファミリーカードの提携店になっています。東尾久1分会では毎年、分会レクで草加健康センターへ行きます。仲間と温泉に入り、風呂上がりには飲むビールは最高です。組合に入って良かったと実感する瞬間です」と語りました。これからも東尾久1分会を支えて荒川支部を盛り上げて欲しいです。
取材 堀井龍二 記者 日暮里一分会